

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	こどもケアセンターほっと大田		公表日		年	月	日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		必要に応じて1対1の対応をし、他、子供同士の関わりなどを大切にするために、1支援者が複数の利用者と過ごすこともある。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		バリアフリーとなっている。 おもちゃなどは収納する工夫がなされている。	おもちゃの増加に合わせて、収納場所の整理整頓を行いたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		活動室は毎日の清掃を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		個別に使用できる部屋を確保している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		<input type="radio"/>		業務改善を進めているが、広く職員でPDCAサイクルを行うことが課題としてあげられる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		保護者向け評価を行い、結果を職員内で周知、業務改善につなげている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	朝のミーティングや業務の開始、終了などの時間を利用して、職員、パート職員が意見できる。	意見を参考に業務改善につなげていきたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	第三者による外部評価は行っていない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		外部研修、法人内研修に参加している。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		<input type="radio"/>	支援プログラムの作成をおこない、公表準備を行っている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	<input type="radio"/>				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		作成された個別支援計画内容を職員が確認し、相談できる環境にある。	個別支援会議をより積極的に開催できると良い。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		発達評価表をもとにアセスメントを行っている。日々の行動観察を行い、職員間で情報共有、アセスメントを行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		5領域に沿って個別支援計画の作成を行い、それによって日々の活動内容を考え実施している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		職員全体で行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		担当の職員が主となり、チームで活動プログラムの立案をしている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		年度始めに、年度の活動内容を計画し、実施している。過去の活動内容は記録に保存し、固定化しないよう工夫している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		その日に行われる支援内容や役割分担について職員間では前日までにメールで共有している。当日朝のミーティングにより打ち合わせを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後には可能な限り、打ち合わせ、振り返りを行っている。必要に応じて、メールで情報共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			情報を支援の検証・改善につなげるため、記録の更なる工夫は必要と考えられる。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		保育園勤務や小学校教員歴のあるスタッフに協力してもらい支援を組み立てている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		利用者に応じて、「やりたい」「やりたくない」などのYes/No、複数の中から選択する（物、人、順番など）など利用者の意思を確認しながら支援を行っている。お子さんの様子をよく理解しているものが参加し、共有している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			保健師等地域との連携は不十分である。地域連携を強化していく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		送迎時や学校のスケジュールの確認等を毎月行い、安全で確実な送迎ができるようにと努めている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		就学前の事業所が法人内のことがほとんどであり、情報共有を行えている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			地域の児童発達支援センターとの連携については情報を得ていきたいと考える。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		近隣の特別支援学校とは交流を受ける機会が得られている。	こちら側から、学校側へ見学や体験など行いたい旨を学校側にお伝えする。今後は積極的に行っていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎や面談の際に情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		当事業所はペアレント・トレーニングは行っていない。その都度、お子さんの状況を確認しご家族に助言したり、一緒に考えている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		面談時、契約時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談内容や日々の支援の中からお子さんの成長を促せる内容を盛り込んで作成している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		こちらから相談を持ち掛けてお子さんのことについて一緒に考えるなど話をするように心がけている。また、定期的な面談を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	事業所内のイベントにご家族（きょうだい含む）も共に参加いただき、ご家族同士の交流の場を設けている。	父母の会、保護者会の開催はできていないため、今後設けていきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	メールと電話の両方を活用し、写真を送るなどわかりやすく説明するように工夫している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		昨年度に比べ、活動概要を発信する頻度が減少しているため、頻度を検討したいと考える。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	十分注意し、取り扱っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	それぞれのご家庭の状況に応じて、連絡方法や手段を変更している。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	夏祭りに、地域交流室を利用される地域の方々にご参加いただいた。	コロナ禍以降、地域交流が減少していたため、今後、再開、拡充していきたい。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	看護師を中心として情報収集を行い、職員全体で情報共有を行っている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	医師の指示に基づき、実施している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		ご家族への周知が不十分であることが課題としてあがる。通信などでお知らせするなどご家族へ周知する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	東京都の虐待防止研修に参加し、職員間で共有する場を設けている。		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	個別支援計画に活動や食事など必要時は座位保持椅子を使用することを明記しているが、必要以上に乗車時間が長くないように支援を工夫している。		